

令和2年度活動報告書

特定非営利活動法人 そらしど

1. 活動の概要

今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、延期や中止を余儀なくされる状況から始まりました。子ども達は休校となり、入学式もなくなり、いつもと違う新年度のスタートとなりました。未知のウィルスにより、生活も一変し、対応も手探りで、保護者としても家族の健康をどう守っていくか、何かあった時にはどうしたらいいのか、「もし自分や子どもが入院になるようなことがあったら…」と不安も尽きない状況でした。

そんな中で、そらしどとしては何ができるかも手探りで、社会的な状況も考慮しながら進めて参りました。やり始めたばかりのオンライン活動に戸惑いながらも、練習を重ねてオンラインでの朝活や座談会を開催することができました。対面では感染予防対策を取りながらワークショップと「動作法実践講座」を開催いたしました。発達障害体験出張講座の「そらしどキャラバン隊」は、6件ご依頼がありました。小児看護学会や日本助産学会にて発表の機会をいただき、前年度に作成しました「医療的ケアが必要な子どもをもつ家族の生活全般に関するヒアリング調査研究報告書」を基にお話することができました。助成金の公開プレゼンテーションに3回挑み、活動の助成金をいただくことができました。この助成金に関しては、次年度の活動資金にさせていただきます。

2. 各活動の詳細

1) オンライン企画：

- ① 5月11日(月)～5月29日(金)朝8時～8時30分休校中には朝のリズムをある程度保てるように、「おはよう」と声をかけあい、近況をお話したり、子ども達も一緒に体操をしたり、音楽を聴いたりしました。だらけてしまいがちな休校期間でしたが、親の私達もみんながいるからとがんばれたし、楽しみにしてくれているお子さんもおられて、いい時間が過ごせたように思います。
- ② 7月14日(火)進路座談会。久しぶりにリアル開催を検討しておりましたが、前日の段階で大雨が予想されたので、オンラインに切り替えて行いました。そのため、普段なら来られないような他県からのご参加もあり、有意義な時間を過ごすことができました。



- ③ 1月27日(水)「そらしどルーム」午前の部、午後の部、夜と3回時間を設定し、出入り自由で内容も決めずにおしゃべりする会を実施しました。のべ11人の参加がありました。

2) ワークショップ：6月30日(火)ありがとう曼荼羅ワークショップ@ボランタリープラザ



3) 動作法実践講座：12月20日(日)クリスマスの雰囲気を感じながら行いました。3月28日(日)放課後等デイサービスで働かれている支援者の方も見学で参加してくださいました。

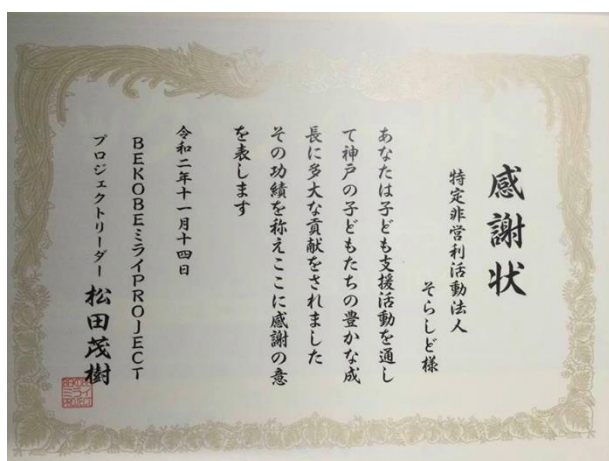


4) そらしどキャラバン隊：発達障害の体験講座を出張で行いました。

- ① 9月17日(木)コープこうべ第5地区本部、有瀬児童館、西区社会福祉協議会@西区民センター
- ② 11月9日(月)神戸親和女子大学人権教育研修会@神戸親和女子大学学生会館記念講堂
- ③ 11月18日(金)コープこうべ第4地区本部、有野児童館、北区社会福祉協議会@岡場学園
- ④ 12月14日(月)コープこうべ第4地区本部、泉台児童館、北区社会福祉協議会@北区役所
- ⑤ 2月1日(月)コラージュ、まなびやいちご塾@三木市立市民活動センター
- ⑥ 3月10日(水)有瀬児童館



- 5) 神戸ソーシャルブリッジ参加：そらしどの事業について、プロボノの方にご協力いただき整理しました。
- 6) 他団体との交流：「じゅうしん きっず&ゆーす」オンラインでインタビューを実施しました。
- 7) 助成金申請・プレゼンテーション：
- ① 10月20日(火)しみん基金 KOBE
 - ② 11月14日(土) BE KOBE ミライセッション
 - ③ 11月28日(土)寄付がつなげるひと育てるまち～タニマッチング～



- 8) 学術集会参加：
- ① 9月20日(日)日本小児看護学会第30回学術集会 テーマセッション話題提供
 - ② 3月20日(土)・21日(日)第35回日本助産学会学術集会 バーチャル展示
ミッドワイフカフェのホスト
- 9) 他団体等への協力： 武蔵野大学 長谷美智子先生の研究
愛垂児童館 J-cafe 参加
ケアする人のこころのライン「ききみみずきん」実施協力
ひょうごみんなで支えあい基金実行委員会参加

3. 事業実施体制

1) 会議等に関する事項

理事会：2回 会議：11回 ZOOMや演題発表の練習：13回
ソーシャルブリッジ・タニマッチングミーティング：8回

2) 会員（令和2年度）

正会員：16名 賛助会員：14名